

第六十九回 帝國議會
衆議院 昭和十一年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案委員會議錄(速記)第三回

外務省文化事業部長 岡田 兼一君

昭和十二年五月十五日(金曜日)午前十時開
會議

一君
君ヲ議長ニ於テ選定セリ

昭和十一年五月十五日(金曜日)午前十時開
議會

一君
君ヲ議長ニ於テ選定セリ
五月十四日貯蓄銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）及日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

理事矢野庄太郎君 理事池田清秋君

一君
男君
君ヲ議長ニ於テ選定セリ
五月十四日貯蓄銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）及日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

理事木村
正義君
理事田尻
生五君

君ヲ議長ニ於テ選定セリ
五月十四日貯蓄銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）及日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

一宮房治郎君 松本忠雄君

森　兼道君　鈴木康太郎君

男君	君ヲ議長ニ於テ選定セリ
夫君	五月十四日貯蓄銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）及日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ
亮君	出席國務大臣左ノ如シ
郎君	大藏大臣 馬場 錄一君
捷君	出席政府委員左ノ如シ
吉	外務文務次官 諸野毛利榮吉
辭任	

卷之三

男君	一君
夫君	君ヲ議長ニ於テ選定セリ
亮君	五月十四日貯蓄銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）及日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ
郎君	出席國務大臣左ノ如シ
捷君	大藏大臣 馬場 錄一君
辭任	出席政府委員左ノ如シ
武治	外務政務次官 猪野毛利榮君

第六類第七號 昭和十一年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案委員會議錄

第三回 昭和十一年五月十五日

付託議案

大藏書記官 松隈 秀雄君
預金部長 金子 隆三君

商工省工務局長 岸 信介君
商工省鑛山局長 小島 新一君

拓務省拓務局長 高山 三平君

拓務書記官 小河 正儀君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十一年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

對支文化事業特別會計法中改正法律案

(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、新ニ

當委員會ニ付託ニナリマシタ貯蓄銀行法中改正法律案、日本銀行特別融通及損失補償

付託ニナッテ居リマス十案ト此二案、十二案ヲ一括シテ議題ニ供シマス、昨日付託ニナリマシタ此二案ニ付テ、政府委員ノ提案理由ノ御説明ヲ願ヒマス——中島政府委員

○中島政府委員 貯蓄銀行法中改正法律案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス、現行

付託

ノ付託ニナッテ居リマス十案ト此二案、十二案ヲ一括シテ議題ニ供シマス、昨日付託ニナリマシタ此二案ニ付テ、政府委員ノ提案理由ノ御説明ヲ願ヒマス——中島政府委員山ノ御説明ヲ願ヒマス——中島政府委員

○中島政府委員 貯蓄銀行法中改正法律案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス、現行貯蓄銀行法第十一條ニハ、貯蓄銀行ハ國債、地方債又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル社債、若クハ株式ノ應募引受若クハ買入、又ハ

是等ノ有價證券ヲ質トスル貸付ヲ爲シ得ベキ旨ヲ規定シテ居リマスルガ、其所謂國債、地方債、社債、株式ハ、何レモ我國ノモノノミヲ指シ、外國ノモノハ之ヲ含マナインデアリマス、然ルニ近年滿洲國ノ國債其他ノ有價證券ガ我國ノ市場ニ於テ發行セラレ、又其取引モ今後益々增加セントスル趨勢ニアリマスカラ、貯蓄銀行ヲシテ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル同國ノ有價證券ニ投資シ得ル途ヲ拓ク爲ニ、貯蓄銀行法ノ改正ヲ行ハントスルモノデアリマシテ、右ハ我國ト滿洲國トノ特殊關係ニ顧ミマシテ、適當ノ措置ト考ヘル次第デアリマス、宜シク御審議アランコトヲ望ミマス、其次ニハ日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、現行日本銀行特別融通及損失補償法ニ依リマスレバ、日本銀行ガ同法ニ基イテ特別融通ヲ行ヒ得ル期限ハ、昭和十二年五月八日ヲ以テ満了致シマスノデ、本改正法律案ハ、右期限ヲ更ニ十年延長セントスルモノデアリマス、日本銀行特別融通及損失補償法ハ、昭和二年金融恐慌ニ際シ、財界ノシテ、日本銀行ハ同法ニ依リ五億圓ヲ限度トスル政府ノ損失補償ノ下ニ、預金ノ支拂

準備ニ充テシムル爲メ、銀行ニ對シ特別融通ヲ行ヒマシタガ、其新規融通打切期限タル昭和三年五月八日現在ニ於テ、被融通銀行數ハ八十八行、融通金額ハ六億八千七百

久シク不況ヲ續ケ、被融通銀行ノ整理モ亦容易デアリマセヌノデ、特別融通ノ回収ニ付テモ其進捗ヲ妨ゲラレタノデアリマス、而シテ最近兩三年來財界ノ好轉ヲ見ルニ及ビ、被融通銀行ノ整理モ著シク進捗シ、特

別融通ノ回収成績モ漸次良好ニ向フニ至リマシタガ、昭和十一年三月末ニ於テ、尙ホ

付テモ其進捗ヲ妨ゲラレタノデアリマス、而シテ最近兩三年來財界ノ好轉ヲ見ルニ及

ビ、被融通銀行ノ整理モ著シク進捗シ、特

別融通ノ回収成績モ漸次良好ニ向フニ至リマシタガ、昭和十一年三月末ニ於テ、尙ホ

○金光委員長 此十二案ニ付テ前會ニ引續キ質疑ヲ許可シマス

○松本委員 只今大藏當局カラ御説明ニナツタニ案ノ審査ノ爲ニ、材料ヲ御願シタト、ソレカラ回収ノ狀況ヲ示ス材料ヲ御提出願ヒマス

ト、ソレカラ回収ノ狀況ヲ示ス材料ヲ御提供

出願ヒマス

○中島政府委員 松本君ノ申サレマシタ材

料ニ付キマシテハ、直チニ整理致シマシテ提出致シマス

○金光委員長 ソレデハ松本君一ツ願ヒマス

○松本委員 「アルミニウム」ノ關稅ノ問題ニ付テ御教ヲ乞ヒタイノデスガ、第一ニ政

府當局ハ日本ニ於ケル「アルミニウム」ノ需

要供給ト云フコトニ付テ、ドンナ御見透シヲ付ケテ居ラレマスカ

○岸政府委員 「アルミニウム」ノ需要ニ關

シマシテハ、年ニ依リマシテ必シモ一樣デ

ハアリマセヌケレドモ、最近漸次需要ガ増

加致シテ居リマス、一万噸前後ノ需要ハ最

近間達ナクアルモノト思ヒマス、尙ホ今後

輕金屬ノ需要ト云フモノハ、益々殖エテ行ク

モノデアリマシテ、將來ノ需要トシマシテ

ハ、相當量尙ホ殖エルモノト、斯ウ云フヤ

ウニ考ヘテ居リマス

○松本委員 需要ノ方ハ承リマシタガ、供給ノ方——國內ノ生産ノ方ニ付テ承リタイ

ガ、吾々頂戴致シマシタ参考表ノ中ニ「アルミニウム」ノ生産額、原礦石ハドウ云フ

スル「ボーキサイト」ニ付キマシテハ、サウルミニアム」ノ生産額年表ト云フモノガア

ガ、吾々承致シテ居リマス、希臘カラ参リマス

所カラ供給ヲ受ケテ居ルカ、原礦石ノ供給

ノ状況ヲ御示シヲ願ヒタイ

○岸政府委員 御承知ノヤウニ最近國內ニ會社ガ數箇出來マシテ、日本電氣工業株式會社、日滿「アルミニウム」株式會社、住友「アルミニウム」精鍊株式會社等ニ於キマシテハ、既ニ生産ヲ開始シ、其製品ヲ市場ニ出シテ居リマス、尙又臺灣ニ於ケル日本「アルミニウム」株式會社モ、本年末ニハ製造ヲ開始スル見込デアリマシテ、今日マデ既ニ出來上ツテ居リマスル 生產能力ト云フモノニ付テ見マスルト云フト、日本電工ノ一年ノ生產能力ハ、六千噸乃至七千噸デアリマス、日滿「アルミニウム」ノ今日ノ生產能力ハ千五百噸デアリマス、住友「アルミニウム」ガ千五百噸デアリマス、日本「アルミニウム」株式會社ガ出來上リマスル、

○岸政府委員 原礦石ハ朝鮮ニ生産セラレテ居リマス明礬石、之ヲ日本電氣工業及ビ住友「アルミニウム」ニ於キマシテハ原礦石ト致シテ居リマス、日滿「アルミニウム」株式會社ニ於キマシテハ、滿洲國ノ礬土貢岩、ソレニ歐羅巴方面カラ入レテ居リマスル「ボーキサイト」ヲ併セ用ヒテ居リマス、臺灣ノ日本「アルミニウム」株式會社ニ於キマシテハ、南洋海峽殖民地等ノ方面ニアリマスル「ボーキサイト」ヲ原料ニ致ス豫定デアリマス

○松本委員 只今仰セニナツタ原礦石ノ中デ、朝鮮ノ明礬石ト云フモノハ、是ハ供給ハ確保セラレテ居リマスガ、其他日滿ハ歐洲方面ト仰シヤツタガ、希臘ノコトデアリマハ、其生產能力ヲ擴張スルト云フ計畫モアルヤニ聞イテ居リマス

○松本委員 大體生產能力ハ分リマシタガ、別ニ批評ヲ申上ゲル譯デハアリマセヌケレドモ、需要ノ額ニ比べテ生產ハ頗ル貧

弱ダト云フ結論ニナルト思ヒマス、ソレハ私ノ觀察デアリマスカラ宜シウゴザイマス

ガ、吾々頂戴致シマシタ参考表ノ中ニ「アルミニウム」ノ生産額年表ト云フモノガア

リマスガ、此生産額デ、原礦石ハドウ云フ

所カラ供給ヲ受ケテ居ルカ、原礦石ノ供給

ノ状況ヲ御示シヲ願ヒタイ

○岸政府委員 南洋カラ持ツテ參リ マスルスル「ボーキサイト」ニ付キマシテハ、相當長期ノ契約ガ確實ニ確保セラレテ居ルヤウニハ、吾々承致シテ居リマス、希臘カラ参リマス

スル「ボーキサイト」ニ付キマシテハ、サウルミニアム」ノ生産額年表ト云フモノガア

スガ、其生產額ハ、只今仰シヤツタ通リニシテモ、日本デ一年ニ十万噸位ノ需要ガアル

ニ對シテ、供給ハ年額一万七八千噸、二

万噸ニハ達シナイト思ヒマス、之ニ對シテ

ノニ對シテ、供給ハ年額一万七八千噸、二

万噸ニハ達シナイト思ヒマス、之ニ對シテ

テモ、日本デ一年ニ十万噸位ノ需要ガアル

スガ、其生產額ハ、只今仰シヤツタ通リニシ

○岸政府委員 南洋カラ持ツテ參リ マスルスル「ボーキサイト」ニ付キマシテハ、相當長期ノ契約ガ確實ニ確保セラレテ居ルヤウニハ、吾々承致シテ居リマス、希臘カラ参リマス

○松本委員 ソコデ私ハ多少疑問ヲ呈セザルヲ得ナイノデアリマス、是ダケノ資本ヲ投下シテ、是ダケノ會社ガアルノデアリマスガ、其生產額ハ、只今仰シヤツタ通リニシテモ、日本デ一年ニ十万噸位ノ需要ガアル

○岸政府委員 日本電氣工業ノ公稱資本ハ

○岸政府委員 最後ノ段ニ御答申上ダマス

○松本委員 大體生產能力ハ分リマシタ

○岸政府委員 日本電氣工業ノ公稱資本ハ

○岸政府委員 最後ノ段ニ御答申上ダマス

○松本委員 大體生產能力ハ分リマシタ

○岸政府委員 日本電氣工業ノ公稱資本ハ

ガハッキリシナカツタ爲ニ、間違ッタノデヤナ
リノヤウデアリマシタガ、大體一万噸乃至
一万二千噸位ガ最近ノ需要デアリマス、隨
テ本法ノ年產能力ガ「フール」ニ發揮サレマ
スト云フト、寧ロ現在ノ需要ヨリモ多イダ
ケノ能力ヲ持ツコトニナルノデアリマス、
最後ニ價格ノ點デアリマスルガ、是ハ各社
ノ現在ノ狀況カラ申シマスト、生産ノ技術
的方法モ違ツテ居リマスシ、原礦モ先程申上
ゲマシタヤウニ、色々區々デアリマスシ、
尙又能力ヲ全部發揮致シテ居リマセヌノ
デ、其「コスト」ニ付キマンテハ、尙ホ詳細
ニ之ヲ明確ナラシムルコトガ出來ナイノデ
アリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ、今日
ノ「アルミニューム」ノ市價デアル千五百圓
乃至千六百圓位ノ値段ノ程度デアルナラ
バ、十分是等ノ會社ハ「ペーイ」スルト云フ
見込デアリマス、隨テ今日ノ市價ガ、特ニ外
國カラ輸入サレル「アルミニューム」ノ市價
ニ依ツテ、低下セラレルト云フコトガナイン限
リニ於キマシテハ、大體ニ於テ是等ノ「アル
ミニユーム」工業ハ成立ツテ行クグラウト思
フノデアリマス、所ガ御承知ノ通り外國ニ於
キマシテ強力ナル「アルミニューム」ニ付テ
ニ「カルテル」ガアリ、世界的ニ見ルト相當

「オーヴィー・プロダクション」ノ現状デアリ
マスカラ、日本ノ是等ノ工業ガ確立シヨウト
スル際ニ、其値段ノ上ニ於テ色々ナ細工ヲ
サレルト云フコトニナリマスト、折角樹立
シヨウツスル是等ノ工業ガ、其確立ヲ妨げ
ラレル、丁度大藏省ノ御説明ニアリマス通
リ、現ニサウ云フ細工ト思ハレルヤウナ事
柄ガ、屢々見受ケラレルノデアリマス、吾々
ハ之ニ依リマシテ特ニ値段ヲ引上ゲルト云
フ考デハナク、寧ロ現在ノ價格ヲ維持スル
ト云フ所ニ主眼ヲ置イテ、此關稅ヲ考へテ
居ル譯デアリマス

ト云フコトデアレバ、是ハ將來ニ俟ツヨリ
外仕方ガナイ、唯私共伺ヒタインハ、原礦
石ヲ國內ニ求メ得ルモノナラバ宜イガ、原
礦石ヲ國內ニ求メテアレナイ所ノ産業ヲ、關
稅ヲ高クシテ保護シテ、サウシテ其結果ガ
果シテドウナルカ、是ハ又別ナ場合ニ承リ
タイト思フガ、實ハ吾々鐵ノ關稅ノ引上ヲ
承諾シタ時ニハ、數年ナラズシテ、此鐵ノ
關稅ハ引下ゲルコトガ出來ルト云フコトヲ
言明サレタ、ソレヲ信賴シテ吾々ハソレニ
應ジタノデアリマス、所ガ金ノ輸出再禁止
トナリ、鐵ノ價格ノ暴騰トナツテ、非常ナル
利益ヲ占メルヤウニナツテ居ルニ拘ラズ、關
稅ノ引下ゲト云フコトハ爲サラナイ、一遍
關稅ヲ引上ゲルト云フコトニ同情ヲ申上ガ
ルト引下ゲルト云フ問題ニ付テハ、殆ド望
メナイト云フヤウナ感ジヲ實ハ懷イテ居ル
ノデアリマス、此點ニ付テ當局ノ確ッカリシ
タ御判断ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

シマシテモ、極メテ重要ナ各種ノ産業ト密接ナ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、之ヲ何トカ
國內ニ樹立シテ、又成ベク國產ノ原礦カラ
「スターント」シタ工業ヲ興サウ、是ハ一旦緩急アル場合ヲ考ヘマスレバ、申スマデモナ
ク日本ノ勢力範圍内カラ原礦ヲ取得スルト
云フコトガ必要デアルト思フノデアリマ
ス、サウ云フヤウナ事柄モ多年色々攻究セ
ラレテ、明礬石カラノ精鍊ノ方法ニモ成功シ、又最近滿洲ノ礬土貢岩ヲ原料トスル精
鍊ノ方法ニモ成功シ、是等ノモノモ斯ウ云
フ風ニ工業化セラレテ居ル現狀ナノデアリ
マス、隨テ之ヲ何トカ維持シ發展セシメテ
行クト云フ事柄ハ、國防上或ハ產業上、ド
ウシテモ吾々ノヤラナケレバナラヌ事柄デ
アルト考ヘテ居リマス、唯御心配ノヤウニ、
關稅ヲ無暗ニ引上ゲテ、ソレニ依ツテ價格ヲ
高クスルト云フコトハ、消費ノ方面、其他
色々是ノ影響スル所モ、考慮セネバナラヌ
コトデアラウト思フノデアリマス、唯「ア
ルミニューム」ニ付キマシテハ、御承知ノ
ヤウニ從來日本ニ生産ガナカッタ爲ニ、全然
保護的ナ、意味ノナイ極ク輕イ稅金ガ課ツテ
居リマシテ、今回ノ關稅ノ改正ニ依リマシ
テ課ケヨウト云フ率ハ、一般ノ化學工業ノ
例ナリ、或ハ輕金屬ノ「マグネシユーム」等

ニ課ケラレテ居リマス例ナリ、サウ云フ一
般ノ税率ノ所マデ課ケヨウト云フノデアリ

マシテ、特ニ之ニ依ツテ價格ヲ昂騰セシメ

テ、サウシテ無理シテ、之ヲ實施ショウト確
信シテ居リマス

云フ風ナ結果ニハ立至ラナイデアラウト確
信シテ居リマス

○松本委員 御答辯ヲ承リマシタガ、次ニ

「アルミニューム」工業ノ爲ニハ「アルミニュ

ーム」ヲ海外カラ輸入シテ精製スルト云

フコトモ、一つノ方法デアリマスケレド
モ、半製品デアル「アルミナ」ヲ持ッテ來テ、

之ヲ精製スルト云フコトモ一つノ行キ方デ

アル、或ハ運賃ヲ節約スルト云フ所カラ言

ヘバ、ソレデ宜シイガ、承レバ「アルミナ」

ノ關稅ハ、從來カラ從價二割ヲ課ケラレテ

居ル、吾々ハ「アルミニューム」工業全體ノ

見地カラ見レバ、精製品デアル「アルミニュ

ーム」ノ關稅ハ上ゲルガ「アルミナ」ノ關

稅ハ之ヲ引下ゲテ、サウシテ半製品ヲ持ッ
テ來テ、日本ニ於テ精製ガ出來ルト云フヤ

ウナ手續ヲ御執リニナルコトモ、急務デハ
ナイカト思フノデアリマスガ「アルミニュ

ーム」關稅ヲ引上ゲテ「アルミナ」ノ關稅ニ
付テハ手ヲ御著ケニナラナインハ、ドウ云
フ譯デアルカ承リタイノデアリマス

○岸政府委員 「アルミニューム」工業ヲ國

内ニ確立スルコトニ付キマシテ、從來カラ
長イ間研究シテ居リマシテ、其一つノ方策
ト致シマシテ、今御話ニナリマシタヤウナ
地デヤルト云フ風ナコトモ、嘗テ吾々ハ考
ヘタコトモアツタノデアリマスガ、其後ノ日

「アルミナ」ヲ輸入シテ、ソレカラ精鍊ヲ内

シマスト、困難デハナイカト思フノデアリ
マス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、特ニ其
方面ニ特別ノ考慮ハ拂ツテ居ラナイ譯デア
リマス

○松本委員 大體ノ御話ノ筋ガ、原礦石ノ
供給ガ確保シ得ラレルト云フ御見地ニ立ツ
テ居ラレルノデアリマスガ、私共希臘カラ
ム「アルミナ」ヲ作リ、更ニ「アルミニューム」
ヲ精鍊スルト云フ一貫的ナ事業ガ、十
分國內ニ確立シ得ル見込ガ立チマシタノ
デ、今日ニ於キマシテハ特ニ「アルミナ」ヲ
輸入シテ、サウシテ此方デ「アルミニューム」
ノ精鍊事業ダケヲヤルト云フ風ナコト
ハ考ヘテ居リマセヌ、併シサウ云フコトガ
ハナイカ、ソコデ私ハ承リタイガ、此蘭領
印度カラ來ル「ボーキサイト」ハ、積出ス港
ノ問題ニ付テ、其後解決ガ付イタカドウカ
ナイカト云フヤウナ御話モアリマスケレド
モ、先程申上ゲマシタヤウニ、希臘カラ來
クハ其方面ノ工業ノ發達ノ現狀カラ見マシ
テ、アノ方面ニ「アルミナ」工場ガ出來テ、
マス極ク少量ノ「ボーキサイト」ハ別トシマ
シテ、南洋方面カラ取リマス「ボーキサイト」
ニ付キマシテハ、南洋方面ノ地理的若
クハ其方面ノ工業ノ發達ノ現狀カラ見マシ
テ、アノ方面ニ「アルミナ」工場ガ出來テ、
リマスガ、其問題ガ大體解決致シマシテ、
他ノ問題ニ付テ、色々ノ經緯モアツタノデア
ルミニューム」ニ付テハ、特別ナ御考慮ガ
シテモ、何カ滿洲トノ特別ノ關稅條約ナド
ヘタト聞イテ居リマス、其點ハ別ト致シマ
シテモ、何カ滿洲トノ特別ノ關稅條約ナド
「アルミニューム」ニ付テハ、特別ナ御考慮ガ
拂ハレルヤウニナルノデゴザイマセウカ
シタヤウニ、未ダ滿洲ニ於テ工業化セラレ

○岸政府委員 滿洲ノ「アルミニューム」ノ生
産ノ現狀ハドウナッテ居リマスカ

○岸政府委員 滿鐵ニ於キマシテ從來「アルミニューム」ノ生
産ノ現狀ハドウナッテ居リマスカ

○岸政府委員 滿洲ノ「アルミニューム」ノ生
産ノ現狀ハドウナッテ居リマスカ

ル域ニ達シテ居リマセヌカラ、今日ドウスルト云フコトハハツキリ申上ゲル譯ニハ行カナイト思ヒマスガ、併シ將來滿洲デ色々内地ノ需給ノ狀況ナリ、生産費ノ狀況ナリ、其他一般狀況ニ顧ミマシテ、滿洲デサウ云フ工業ヲ起スコトガ適當デアル、又は對滿事務局ノ問題デアリマセウガ、滿鐵等ヲシテヤラシメルコトガ適當デアルト云フ風ナコトニナツテ參リマシタ場合ニ於キマシテハ、十分滿洲デ出來上ガリマスル所ノ「アルミニューム」工業ト、内地ノ「アルミニューム」工業トノ間ニ、適當ナル統制連絡ヲ考ヘルコトハ必要デアラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○松本委員 只今ノ滿洲國ノ問題ニ付テ、私共ハ鐵ノ問題ニ付テ相當苦ガイ經驗ヲ嘗メテ居リマスカラ「アルミニューム」ノ問題ニ付テモ、同ジヤウナ結果ニ陷ラナイヤウニ御願致シテ置キマス、他ノ委員會ノ關係モアリマスノデ、又御伺スルコトニシテ、大體此程度デ質問ヲ打切りマス

○金光委員長 一宮君

○一宮委員 只今ヤット資料ヲ受取ッタバカリデ、餘り調べテ居リマセヌガ、一二三ノ點ニ付テ政府當局ニ承ツテ見タイト思ヒマス、ソレハ從來對支文化事業ト致シマシテ、色

色ナ方面ニ事業ヲヤラレテ居リマスガ、主トシテ文化ニ關スル對支文化事業部ノ活動ハ、古代支那ノ文化研究ト云フ點ニアルト思ハレルノデアリマス、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマスケレドモ、現在ノ日本及ビ支那ガ要求シテ居ルモノハ、單ニ古代文化ノ研究ニ止マラズシテ、現代文化ノ研究ト云ナコトニナツテ參リマシタ場合ニ於キマシテハ、十分滿洲デ出來上ガリマスル所ノ「アルミニューム」工業ト、内地ノ「アルミニューム」工業トノ間ニ、適當ナル統制連絡ヲ考ヘルコトハ必要デアラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○猪野毛政府委員 現在ノ文化事業部ノ法規ノ許ス範圍ニ於キマシテ、又費用ノ許ス範圍ニ於キマシテ、御希望ノ如キ趣意ニ副ヒタイ、斯ウ云フ方針デ居ルノデアリマス

○一宮委員 此東方文化學院、或ハ上海ニテ、現在ノ文化事業部ハドウ云フ活動ヲナシテ、現在ノ文化事業部ハドウ云フ活動ヲナシテ、現

○岡田政府委員 現代ノ支那文化ノ研究ト云フコトニ付キマシテハ、只今現ニヤツテ居

ガ、只今仰シヤラレタ講師ノ交換、或ハ現在支那ニ對シテ我國民ガ要求シ、又我ガ學者ノ交換若クハ教授ノ交換ト云フヤウナコトヲ、現ニ致シテ居ルノデゴザイマス、モウ一つハ東方文化研究所、東京及ビ京都ニゴザイマス東方文化研究所ニ於キマシテモ、出來ルダケ現代ノ支那文化ノ研究ニ從事スルト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、只今手ヲ著ケテ居リマスノハ、大體思フノデアリマス、ソレデ古代文化ノ研究モ洵ニ結構デアリマスケレドモ、現代支那ノ文化研究ト云フモノニ對シテ、文化事業部ノ援助ヲ擴張致シマシテ、之ヲ少シク補助或ハ其事業ニ著手スルト云フ御考ヲ當局ハ持ツテ居ラレルカドウカ、此點ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○一宮委員 此東方文化學院、或ハ上海ニ於ケル所ノ自然科學研究所、或ハ北京ニ於ケル研究所ト云フヤウナモノガ、全然現代派遺致シマシテ、是ハ必シモ現代ノ文化バカリデハゴザイマセヌケレドモ、現代文化及ビ古代ノ文化ヲ研究サセルト云フヤウナコトヲ致シテ居ルノデゴザイマス

○猪野毛政府委員 現在ノ事業法中ニ、ソレガ許サレナイ所ガノ研究ヲナサルト云フコトガ、現代日本ノ要求シテ居ル所デハナイカト私ハ思フノデアリマス、ソレガ爲ニ若シ法制ノ上ニ――現在ノ事業法中ニ、ソレガ許サレナイ所ガアルト致シマスレバ、ソレヲ改正シテモ、斯ウ云フコトヲ實行スルノガ必要デハナイカト思フノデアリマスガ、其點ニ對シテ當局ハ如何ナル御考ヲ持タレテ居リマスカ、承リタイト思フノデアリマス

○猪野毛政府委員 一宮サンノ御希望、御意見淘ニ結構ナコトデアラウト思ヒマス、ソレ等ノコトニ付キマシテハ時代ノ情勢、日支ノ關係ニ付キマシテ、段々改善シテ宜シイモノハ、改善スルコトニ付テ一向躊躇ヲ致サナイノデアリマス、現ニ今回出來マス所

ノ同ジ自然科學ノ研究所ニ於キマシテモ、

上海ノ方ハ純學術的ノモノ、北京ノ方ハ自

然科學ニ對シテ應用ノ意味ガ含マレテ居リ

マス、是ナドモ其時代ノ變遷要求ニ應ジテ

出來上ッタ所ノモノト考ヘテ居ルノデアリ

マス、是ハ單ニ其一例デアリマスケレドモ、

要スルニ御趣旨ノ點ハ洵ニ御尤ト思ヒマス

カラ、漸次サウ云フ方針ニ出來得ル限リ致

シタイト考ヘラレマス

○一宮委員 今ノ御答辯ハ、少シク私ノ承

リタイコトトハ違ツテ居ルヤウニ思フノデ

アリマス、上海ノ研究所或ハ北平ノ研究所、

是ハ現代ノ社會トハ游離シタ實ハ研究ヲ多

クヤツテ居ルノデアリマス、支那ノ社會、經

濟、現代ノ文化ト云フモノニ對スル研究ハ

ドウモ少シク閑却サレテ居ルノデハナイカ

ト云フヤウニ、吾々ハ認メテ居ルノデアリ

マス、古代ノ研究モ勿論必要デアリ、學術

ノ研究モ勿論必要デハアリマスガ、現代ノ

支那文化ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、支那

ノ社會經濟ト云フモノガドウ云フ風ニ動イ

テ居ルカト云フコトハ、日支關係ノ密接ナ

ル今日、最モ時勢ノ要求スル所デアリ、又

日本ノ大衆ノ希望スル所デアルト思ヒマ

ス、ソレヲ實行スルコトハ非常ニ急務デア

ルト信ゼラレルノデアリマス、若シソレニ

法制上ノ不便ガアルナラバ、其法制ヲ改正

シ、又サウ云フ事ガ實行ノ出來得ラレルヤ

ウニヤラレル御意向ヲ持ツテ居ラレルカドウ

カラ、又其點ニ對シテ從來ノ活動デ御満足デ

アルト云フナラバ、ソレハ意見ノ相違デア

リマスカラ、又何ヲカ言ハンヤデアリマス

ガ、從來ノ——今日ノ活動ヲ以テ御満足

ト御考ニナツテ居ラレルカドウカ、若シ御満

足ニ考ヘテ居ラレナインデアルナラバ、ソ

レヲ改正シテモヤツテ見ヨウト云フ御意向

アリヤ否ヤト云フコトヲ承ツテ見タイト思

フノデアリマス

○猪野毛政府委員 一宮サンノ御意見御希

望ノ御趣旨ニ合致シテ居ルモノガ、外務當

局ノ方ニ於テアルト云フコトハ、今度對支

文化事業特別會計法中改正法律案等ヲ出シ

ト云フヤウニ、吾々ハ認メテ居ルノデアリ

マス、古代ノ研究モ勿論必要デアリ、學術

ノ研究モ勿論必要デハアリマスガ、現代ノ

支那文化ガドウ云フ風ニナツテ居ル次

第デアリマス

○岡田政府委員 今度使ヒマス百万圓ニ付

キマシテハ、未ダ細カイコトマデ確定シタ

ト云フコトハ申上ゲラレマセヌケレドモ、

只今御話ノアリマシタヤウニ、古代ノ文化

ヲ研究スルノミナラズ、是カラハ近代科學

圖書館ト云フモノヲ上海ト北平ニ設ケマシ

テ、日本語ニ依ツテ近代ノ科學ヲ知ルコトガ

出來ルヤウナ施設ヲ致シマスト同時ニ、其

學生、學者ガ集マリマシテ、現代ニ於ケル

ニ關係ノアル各列強ニ於テヤツテ居ルノデ

アリマスルガ、英米ノ如キハ此範囲ヲ非常

ニ擴張致シマシテ、有ユル事業ニ此資金ヲ

籍ヲ日本語ニ譯スト云フヤウナ仕事モ、併

ニ譯シ、又ハ支那文化ニ關スル重要ナル書

籍ヲ日本語ニ譯スト云フヤウナ仕事モ、併

セテヤツテ行キタイ積リデゴザイマス

〔金光委員長退席田尻委員長代理著席〕

ソレカラ第二ニハ、北支ニ於キマシテ、今

ノ所天津ニ置ク積リテ居リマスノデスガ、

農事試驗場ヲ設ケマシテ、日本ノ進歩シタ

ル現代科學ノ知識ニ依リマシテ、北支方面

ノ重要產業デアル棉花及ビ羊毛ニ關シ種々

ノ研究ヲ行ヒマシテ、之ニ關スル肥料ノ使

ヒ方、竝ニ出來上ッタ品物ヲ合理的ニ處分ス

ル方法等ヲモ併セテ研究スル、學術的ノ研

究機關ヲ設ケル積リデ居リマス、其次ニハ農

業以外ノ近代科學、即チ礦山、工業、其他ノ

產業ニ關スル學術的ノ研究ヲ致シマシテ、

之ヲ發表シテ支那側ヲ利益スルト同時ニ、

日支ノ關係ヲ調節シテ參リタイト云フコト

居ル、サウ云フモノニ對シテハ或ハ活動寫

眞ナリ、或ハ日本語ノ普及ナリ、日本ノ事

業ノ普及ナリヲシテ、サウシテ支那ノ日本

ニ對スル所ノ認識、日本ノ文化ニ對スル所

ノ認識ヲ明ニスルノミナラズ、我國ト致シ

ス

○一宮委員 只今ノ御説明ヲ承リマシテ、

淘ニ今度ハ結構ナル方面マデ、此事業ヲ擴

張セラレタト思フノデアリマス、元來團匪

賠償金ヲ以テ支那ノ開發ニ從事スルト云フ

計畫ハ、單ニ日本ノミナラズ、義和團事件

ニ關係ノアル各列強ニ於テヤツテ居ルノデ

アリマスルガ、英米ノ如キハ此範囲ヲ非常

ニ擴張致シマシテ、有ユル事業ニ此資金ヲ

流用シテ居ル、甚シキハ英國ノ如キハ、鐵

道開發ノ材料ニマデ此金ヲ流用シテ居ルト

云フヤウナ狀態デアリマスガ、之ヲ擴張ス

ルト云フコトニ付テハ、考慮スベキ餘地ガ

アルノデアリマス、從來ノ我國ノ對支文化

事業ノ資金ノ流用ト云フモノハ、餘リニ局

限サレ、餘リニ學術一方ニ偏シテ居タト

思フノデアリマス、支那ノ開發、日支ノ關

係ニ於テ必要ナル所ノ施設ニ此資金ヲ授ジ

テ、サウシテ日支關係ヲ改善スルト云フコ

トハ、最モ必要ナコトダト私ハ思ツテ居ル、

或ハ支那ガ日本ノ事情ヲ餘程知リタガツテ

居ル、サウ云フモノニ對シテハ或ハ活動寫

眞ナリ、或ハ日本語ノ普及ナリ、日本ノ事

業ノ普及ナリヲシテ、サウシテ支那ノ日本

ニ對スル所ノ認識、日本ノ文化ニ對スル所

ノ認識ヲ明ニスルノミナラズ、我國ト致シ

ラ、一寸伺ッテ見タイコトガアリマスガ、大體他日ノ機會ニ質問ヲ留保シテ置キマシテ、モウ是デ止メテ置キタイト思ヒマス

○田尻委員長代理 松本君

○松本委員 製鐵獎勵法ノ改正ニ關シテ二

三御尋シタインデアリマスガ、私共日本製鐵株式會社法案ニ協賛ヲ致シマスル當時ハ、製鐵ノ合同ト云フモノガ、モット早イ期間ニ、而モモット大規模ニ行ハレルモノノヤウナ御信念ト承ッテ居ッタノデアリマスガ、其後ノ情勢ハ、其當時ノ御説明、御言明ヲ裏切ッタヤウナ事態ニナツテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、其點ニ付テノ一つ御説明ヲ承ッテ置キタインデアリマス

○小島政府委員 現行政策ノ中デハ、關稅制度ト云フモノガ、製鐵獎勵法ノ免稅制度ト共ニ、現行法ニ於テノ大キナ支柱ヲ成シテ居ル譯デゴザイマス、日鐵成立以後ニ於キマシテ、將來日本ノ鐵鋼業ノ基礎ヲ鞏固ニシマシテ、設備ノ改善擴張ニ依リマシテ、其「コスト」ヲ出來ルダケ引下ゲルコトガ出來マシタナラバ、鐵鋼關稅ニ付テモ、トヲ考ヘマシテ、其中デモ速ニナリ得ルモノニ付テハ、一所六社ニ付テ是ガ實現ヲ圖リタイト云フコトデ參ッテ居ルノデアリマス、御話ノ通り當初豫定シテ居リマンシタ所十一社全部ニ付テ云フ譯ニハ參ッテ居リマセヌ、其大體ニ於テハ合同ニ參加スルコトガ出來テ居リマスガ、尙ほ當初豫期ノヤウナ合同ハ實現シテ居リマセヌ

○松本委員 今難カシイコトヲ論議致シマセヌガ、製鐵業獎勵法ヲ改正シテ、今度稅金ヲ餘計御取リニナルト云フコトヲ御考ニ覽ニナツテ御決メニナルノデアリマスカ、吾カラ見レバ、鐵ノ關稅ト云フコトニ付テモ、多少手ヲ御付ケニナツテ然ルベキ時期デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其方ニチットモ手ヲ御付ケ下サラヌ理由ヲ、一つ承ッテ置キタインデアリマス

○小島政府委員 現行政策ノ中デハ、關稅制度ト云フモノガ、製鐵獎勵法ノ免稅制度ト共ニ、現行法ニ於テノ大キナ支柱ヲ成シテ居ル譯デゴザイマス、日鐵成立以後ニ於キマシテ、將來日本ノ鐵鋼業ノ基礎ヲ鞏固ニシマシテ、設備ノ改善擴張ニ依リマシテ、其「コスト」ヲ出來ルダケ引下ゲルコトガ出來マシタナラバ、鐵鋼關稅ニ付テモ、トヲ考ヘマシテ、其中デモ速ニナリ得ルモノニ付テハ、一所六社ニ付テ是ガ實現ヲ圖リタイト云フコトデ參ッテ居ルノデアリマス、御話ノ通り當初豫定シテ居リマンシタ所十一社全部ニ付テ云フ譯ニハ參ッテ居リマセヌ、其大體ニ於テハ合同ニ參加スルコトガ出來テ居リマスガ、尙ほ當初豫期ノヤウナ合同ハ實現シテ居リマセヌ

○松本委員 今難カシイコトヲ論議致シマ

セヌガ、製鐵業獎勵法ヲ改正シテ、今度稅金ヲ餘計御取リニナルト云フコトヲ御考ニ覽ニナツテ御決メニナルノデアリマスカ、吾カラ見レバ、鐵ノ關稅ト云フコトニ付テモ、多少手ヲ御付ケニナツテ然ルベキ時期デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其方ニチットモ手ヲ御付ケ下サラヌ理由ヲ、一つ承ッテ置キタインデアリマス

○小島政府委員 現行政策ノ中デハ、關稅制度ト云フモノガ、製鐵獎勵法ノ免稅制度ト共ニ、現行法ニ於テノ大キナ支柱ヲ成シテ居ル譯デゴザイマス、日鐵成立以後ニ於キマシテ、將來日本ノ鐵鋼業ノ基礎ヲ鞏固ニシマシテ、設備ノ改善擴張ニ依リマシテ、其「コスト」ヲ出來ルダケ引下ゲルコトガ出來マシタナラバ、鐵鋼關稅ニ付テモ、トヲ考ヘマシテ、其中デモ速ニナリ得ルモノニ付テハ、一所六社ニ付テ是ガ實現ヲ圖リタイト云フコトデ參ッテ居ルノデアリマス、御話ノ通り當初豫定シテ居リマンシタ所十一社全部ニ付テ云フ譯ニハ參ッテ居リマセヌ、其大體ニ於テハ合同ニ參加スルコトガ出來テ居リマスガ、尙ほ當初豫期ノヤウナ合同ハ實現シテ居リマセヌ

○松本委員 製鐵獎勵法ヲ改正シテ、今度稅金ヲ餘計御取リニナルト云フコトヲ御考ニ覽ニナツテ御決メニナルノデアリマスカ、吾カラ見レバ、鐵ノ關稅ト云フコトニ付テモ、多少手ヲ御付ケニナツテ然ルベキ時期デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其方ニチットモ手ヲ御付ケ下サラヌ理由ヲ、一つ承ッテ置キタインデアリマス

○松本委員 製鐵獎勵法ヲ改正シテ、今度稅

シテ、商工省ニ關係各省ノ協議會ヲ設ケマ

シテ、至急ニ是ガ検討ヲ致スコトニ相成ツ

ト云ツテ、金利ハドン／＼安クナツテ居ル、此

低金利ニナツテ居ル時ニ、製鐵會社ノ株主ダ

ケハ配當が殖エルト云フコトハ、政府ノ製

鐵政策ニ非常ナ矛盾ガアルヤウニ思フ、私

ハ其矛盾ヲ責メヨウト云フノデハアリマセ

ヌケレドモ、一方ニハ大衆ト云フ鐵ノ需要

者ノ立場ニ付テ、先づ第一ニ御考ニナラナ

ケレバナラヌ、然ル後ニ政府、株主ト云フコ

トニ御考下サルノガ、私ハ適當デヤナイカ

レカラ此度ハ製鐵業獎勵法ヲ御改正ニナツ

ニナツテ居ルヤウデアリマス、之ニ依ツテ日

本製鐵會社ノ株主ハ利益ヲ得ラレマス、ソ

ニナツテ居ルヤウデアリマス、之ニ依ツテ日

云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスガ、製鐵業所在地ニ於キマシテハ、製鐵業ニ從事シテ居ル者ガ
多數住ンデ居リマシテ、其地方トシテハ相
當ノ地方的ノ支出ヲ要シマス、國トシマシ
テハ國稅ヲ徵收シナクテモ、廣ク一般的ノ
收入ガアリマスルカラシテ、何トカ賄ガ付
クノデアリマスケレドモ、地方團體ト致シ
マシテハ、他ニ十分ナ財源ガナイト云フ場
合ニ於キマシテハ、國稅ガ免除セラレ、隨テ
ソレニ對スル地方稅ガ無イト云フ場合ニ於
テハ、地方トシテハ歲入ガ上ラズシテ、非
常ナ困難ニ陷ルト云フコトモゴザイマスノ
デ、サウ云フ場合ニハ或ル程度ノ地方稅ヲ
賦課セシムルコトモ已ムヲ得ナイト認メマ
シテ、其事情ヲ斟酌シテ地方稅ヲ賦課セシ
メルコトヲ認メテ居ル場合ガアルト、斯ウ
云フ譯デアリマス

宜イト思フ、サウ云フコトニナリマスト、
今松本君ノ御説ノヤウニ、之ヲ切離シテ特
別ノ扱ヒニオ置キニナル必要ガナイヤウニ
私共ハ考ヘル、國稅ト同様ニ御取扱ニナツテ
然ルベキモノデハナイカト考ヘラレル、ハツ
キリスウ云フ場合デアルト云フ要件ヲ伺ヒ

目ボシイモノガナイ、而モ其市町村ノ設置
ノ爲ニハ相當ノ經費ヲ要スルト云フヤウナ
場合ニ、其獎勵ノ趣旨ヲ沒却シナイ範圍ニ
於キマシテ課稅ヲスルノデアリマスカラ、
只今御質問ノヤウニ、ヤハリ自治體ノ現在
ノ財政状態ナドヲ睨ンデ、サウシテ其製鐵
業ノ獎勵ノ趣旨ヲ沒却シナイ程度デ認否ヲ

其村ニ營造物モ厄介ニナリ、衛生上モ厄介ニナリ、有ユルコトデ厄介ヲ掛ケル譯デス
デスカラドウモソコノ所ノ御趣意ガ、私共ニハ一寸納得ノ行カナイ點ガアルノデアリ
マス、是ハ一ツ御考究下サル必要ガアラウト思ヒマス、是ダケ私ハ御参考ニ申上ゲテ

ソレニ對スル地方稅ガ無イト云フ場合ニ於テハ、地方トシテハ歲入ガ上ラズシテ、非常ナ困難ニ陷ルト云フコトモゴザイマスノデ、サウ云フ場合ニハ或ル程度ノ地方稅ヲ賦課セシムルコトモ已ムヲ得ナイト認メマシテ、其事情ヲ斟酌シテ地方稅ヲ賦課セシメルコトヲ認メテ居ル場合ガアルト、斯ウ云フ譯デアリマス

○山田政府委員 私途中カラ參リマシタノ
デ、能ク前ノ關係ヲ承知シテ居リマセヌカ
ラ、或ハ御質問ノ要旨ニ副ハナイカモ知レ
ヌノデアリマスガ、元々製鐵事業獎勵法ノ
免稅ノ規定ハ、御承知ノ通り重要ナ產業ヲ
獎勵スル趣旨カラ生レテ來タノデアリマス
カラ、之ニ對シテ國稅ハ免除シテ居ルケレ
ドモ、地方稅ヲ課スルト云フヤウナコトニ
ナルト云フト、獎勵ノ根本ノ趣旨ヲ沒却ス
ル虞ガアルト云フノデ、大體ハ原則トシテ
ハ課稅ヲシナイト云フ立前ヲ採ツタノデア

ニ於キマシテモ、他ノ方ニ何カ歳入ガアルトカ、或ハ歳入ガナクテモ、歳出ノ方面ヲ賄ツテ行クコトガ出來ルト云フヤウナ時ニハ、ヤハリ原則ニ歸ツテ——製鐵業獎勵ト云フ方面ノ原則ニ歸ツテ、課稅ヲサセナイト云フヤウニシテ居ルノデアリマシテ具體的ニドウ云フ場合ニハドウダト云フヤウナ、ハキリシタ標準ハ持ツテ居ラナイノデアリマ

○田尻委員 私ハ製鐵事業ノコトニ付キ
シテ御伺ヲ致シタイ、出來得ルナラバ大蔵
大臣ト商工大臣ニ御列席ヲ御願致シマシ
テ、一緒ニ御伺スルト、大變質問ノ趣意モ
徹底致スノデゴザイマスガ、商工大臣御出
席ガ出來ナイヤウデアリマスカラ、大藏士
臣ニ御伺致シタイト思ヒマス、色々アリマ
スケレドモ、時間ノ都合モアリマスカラ、

リマスガ、唯先程モ政府委員カラ説明ガアリ
リミシタヤウニ地方デハ其製鐵業ガ非常ニ
地方ノ重要ナル産業ト言ヒマスカ、工業ト
言ヒマスカ、サウ云フモノノ重要ナル部分
ヲ占メテ居ツテ、隨テソレニ從事スル所ノ、
例ヘバ労働者トカ云フモノガ、其住民ノ大
部分ヲ占メテ居ルト云フヤウナ場合ニ、其

○倉元委員 大體御趣意ハ分リマシタガ、
ドウモサウ云フコトニナリマスト、政府ノ
御方針ガ、製鐵業獎勵ノ趣旨ヲ全ウスル爲
メノ名前ニ捉ハレテ居ルヤウナ感ガアルノ
デス、是ハ獨リ製鐵業ダケデナクテ、紡績
會社デアルトカ、或ハ礦山業デアルトカ、
有ユル所在地ノ各種ノ事業ガアリマスト、

大藏大臣ニ對シテ最モ重要ト思ヒマス
ヲ伺ヒマス、ソレハ昨年豫算ノ編成ノ當時
ニ、從來日本製鐵株式會社ニ於ケル配當
ハ、六分ト云フコトデヤリ來ッテ居ツタノデ
アリマシタガ、ソレヲ一分増配ト云フコト
ニ政府ノ方デ決定セラレテ、サウシテ日本製
鐵ノ當局ニ交渉ノ結果、日鐵トシテハ、
營業ノ成績ヲ見タ上デト云フコトニ表面

ナッテ居ツタヤウデアリマスケレドモ、先般
ノ重役會議ニ於テ、政府希望通り増配問
題ヲ決定シタト傳ヘラレテ居ルノデアリマ
ス、御承知ノ通り日本製鐵會社ハ、我國ニ
於ケル劃期的ノ鐵國策樹立ノ際ニ、將來日
本ノ鐵國策ノ中心機關トシテ設立サレタモ
ノデ、重大使命ヲ持ツテ居ルノデアリマス
ガ、アノ會社法案ガ議會ニ現レマシタ際
ニ、私共モ審議ニ參加致シマシテ、色々質
問應答ヲ重ねタノデアリマス、其際ニ日鐵
ノ將來ノ配當ハ、ドウ云フ風ニスルカト云
フコトヲ質問致シマシテ、相當ノ制限ヲシ
ナケレバナルマイト云フヤウナ、各員ノ意
向デアリマシタガ、時ノ商工大臣ハ大體ニ
於テ、是ハ營利本位ノ會社デナイノデ、社
債ノ利廻ヨリモ少シ高イ程度位デ配當致シ
タイト云フコトデ、具體的ニハハッキリ申
サレマセヌデシタケレドモ、其後六分ト云
フコトデ配當ヲ致シテ居ツタノデアリマス、
ソレガ先般豫算編成期ノ際ニ、政府ノ國庫
ノ歳入ノ方カラ考慮セラレタ結果、政府ノ
持株ニ對スル日鐵ノ配當ヲ增加スルコトニ
依ツテ、約二百八十万圓ノ收入ヲ得ヨウト云
フコトカラ致シマシテ、増配問題ガ現レタ
ノデアリマス、此増配問題ニ付キマシテ
ハ、其當時各方面ニ色々批判モアリマス

シ、多ク非難ノ聲ガ揚ガッテ居ツタヤウデア
リマス、新聞雜誌等ノ言論機關ニ於テモ、色
色非難サレテ居ツタノデアリマスガ、此増配
大臣ト大藏大臣トノ折衝ノ結果、漸クニシ
テ認メラレルコトニナッテ、其財源トシテ日
鐵ノ増配ニ依ツテ得ル所ノ二百八十万圓ヲ、
此政府側ノ出資ニ充テルヤウニ傳ヘラレテ
居リマシタ爲ニ、其際此増配問題ガ喧シ
ク非難ノ的ニナツタト思ヒマス、私ハ此日
鐵ノ配當ト云フモノヲ、永久不變ニ六分
ト云フコトニシテ置カナケレバナラヌト云
フ、窮屈ナ考ハ持ツテ居リマセヌ、或ル場合
ニハ五分或ハ四分ニ下ゲナケレバナラヌカ
モ知レヌ、其代リ又七分ニ上ゲルト云フコ
トモ、已ムヲ得ヌ場合ガアルカモ知レヌト
思フノデアリマス、特殊會社デハアリマス
ケレドモ、ヤハリ民間ノ資本モ入ツテ居ツテ、
ヤハリ營利ト云フコトヲ無視スル譯ニハ行
カナイヤウナ譯デアリマシテ、此日鐵會社
ハ、最初ハ八幡ノ製鐵所ノ外、民間ノ十一
會社ヲ合同ノ目標ト致シテ居ツタニモ拘ラ
ズ、當時經濟界ノ事情ガ變化致シマシタ爲
ニ、露骨ニ申シマスレバ、此際合同ニ參加
スルヨリモ、從來ノ儘デ單獨ニ經營致シタ
方ガ、景氣ガ直ツタ爲ニ利益ガ多イ、詰リ此
際國家的見地ト云フヤウナコトカラ、合同
ニ參加スルト云フヤウナコトハ損デアル、
却テ單獨デヤツタ方ガ得デアルト云フヤウ
ナ考カラ、合同ニ參加シナカツタ會社モア
ルヤウデアリマス、サウ云フ會社ハ今日非
常ナ利益ヲ得テ、二割三割ト云フヤウナ配
當ヲ致シテ居ル會社ガアル、現ニ其當時參
加ヲ豫定サレテ居リナガラ、合同ニ參加シ
ナカツタ會社モ、アノ位ノ評價デ合同スル位
ナラバ、自分ノ方ハ此儘三年ヤツテ行ケバ、
十分ノ利益ヲ舉ゲテ、評價額位ノ利益ハ舉
ゲ得ルノデアルカラ、此際合同ニ參加スル
ト云フコトハ、非常ニ不利益デアルト云フ
ヤウナコトヲ、放言シタ者モアルト傳ヘラ
レテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ事
情デアリマシテ、其際合同ニ參加致シマシ
タ五社、後ニ又一社加ハリマシテ六社デア
リマスガ、サウ云フモノハ、内心ハ合同ニ
參加シナイデ、ヤハリ從來ノ儘自己ノ經營
デ、サウシテ此景氣ノ波ニ乘ツタ方ガ、非常
ニ利益デアルト考ヘタカモ知レナインデア
リマスガ、ソレニモ拘ラズ色々ノ國家的見
地カラ、或ハ從來非常ニ國家ノ世話ニナッ
テ居ルト云フヤウナコトモ考ヘタデアリマ
セウガ、兎ニ角六社ダケガ參加シテ合同會

社ガ出來タ、サウ云フ會社ハ、會社設立ノ
際ノ評價ニ付テハ、世間デハ或ハ非常ナ水
膨レノ會社ガ出來タ、評價ガ高過ギタト云
ガ、是ハ馬場大藏大臣ハ、慥カアノ當時評
價委員デアツト思ヒマスガ、私共モ斷ジテ
サウ云フ水膨レノ評價デナイト信ジテ居リ
マシタガ、サウ云フ會社ガ、其後日鐵ニ參
加シタガ爲ニ、六分ノ配當デ甘ンジテ居ラ
ナケレバナラヌト云フヤウナコトデアルノ
デアリマシテ、是等ノ民間ノ出資者ハ、内
心他ノ參加シナカツタ會社ト比較シテ、サウ
シテ或ハ六分ノ配當ニ甘ンズルト云フコト
ハ、非常ニ苦痛ト感ジ、或ハ七分ノ配當ヲ
希望スルト云フコトハ、是ハ有リ得ルコト
ダト私ハ言ハナケレバナルマイト思ヒマ
ス、ソレニモ拘ラズ、サウ云フ希望ガ民間
ノ出資者ノ方カラハ、表面ニ現レタコトヲ
聞カナイノデアリマスガ、却テ昨年ノ豫算
編成期ニ際シテ政府ノ方カラ、政府ノ配當
ヲ殖シタイガ爲ニ、日鐵ニ對シテ増配ヲ要
求セラレタト云フコトハ、洵ニ穩當ヲ缺イ
テ居ル處置デナイカト私ハ思ヒマス、殊ニ
町田前商工大臣ハ、昨年、昭和十年ノ議會
ニ於テモ、度々此日鐵ノ使命ヲ達成スル爲
ニ、設備ヲ改良シ或ハ擴張シテ、サウシテ

生産費ヲ低クメテ、鐵鋼ノ供給ヲ潤澤ニシ
ナケレバナラヌト云フ使命ニ鑑ミテモ、出
來ルダケ社内保留ヲ多クスル必要カラ、
此配當ト云フモノハ極力制限シナケレバ
ナラヌト云フコトヲ、私ノ質問ニ對シテ
モ仰セニナリマスシ、外ノ機會ニ於ケル
質問ニ對シテモ度々仰セニナリ、サウンテ
サモ若シモ民間ノ出資者カラ増配ノ要求デ
モアレバ、斷ジテ之ヲ抑壓スルト云フヤウ
ナ意氣ヲ御示ニナツテ居ルノデアリマス、是
ハ速記錄ニ依ツテ私ハ確認シテ居リマスカ
ラ、ハッキリ分ルノデアリマスガ、或ル場合
ニ於テハ「日鐵ノ使命カラ申シテ、出來ル
ダケ株主ニ配當スル利益ヲ少クシテ設備ヲ
完全ニスルト云フ、アノ法律ノ趣意カラ致
シマシテ、出來ルダケ分量ヲ豐富ニシテ、
安イ値デ世ノ中ニ供給スルト云フ明ナ目的
ノ下ニ、アノ法律ガ出來テ居ルノデアリマ
スカラ、私ハソレニ副ヒタイ積リデアリマ
ス」又或ル場合ニハ「幸ヒ日鐵會社ハ政府
ノ特別ナル監督ノ下ニアリマス、配當ヲ出
來ルダケ最小限度ニシテ、其利益デ經營ノ
改善ヲスルトカ、設備ヲ完備シテ、益生
産ヲ安クシテ供給ヲ多クスルト云フ方針
ハ、今後モ續ケマス」又或ル場合ニハ「最

テ配當ヲ制限シテ、經營改善並ニ新シイ設備ヲ殖ヤスコトニ全力ヲ擧ガサセル、此考ヲ以テ日本製鐵會社ヲ中心ニシテ、日本製風ニ仰セニナツテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ民間ノ出資者カラ何等ノ要求モシナイニ拘ラズ、僅カ二百八十万圓ノ國庫ノ收入ヲ得ルガ爲ニ、而モソレガ商工中央金庫ノ出資ニ充ツルガ爲ニト云フコトデアルトシマスレバ、日本製鐵會社ガマダ十分ノ活動ガ出來テ居ナイ、將來益々其設備ノ改良擴張ノ爲ニ資金ヲ要スル此日鐵會社ニ對シテ、二百八十万圓ノ配當ヲ強要スルト云フコトガ、私ハ非常ナ矛盾シタヤリ方デアルト言ハナケレバナルマイト思フ、殊ニ中小商工業者ノ爲ニ特別ノ金融機關ヲ設ケル、商工中央金庫ヲ設ケルト云フコトハ、是ハ昨年ノ議會ニ於キマンテ、商工大臣ガ自分ノ意見トシテ御述ニナツタ際モ、政黨政派ヲ問ハズ擧ツテ賛成ノ意ヲ表シタノデアリマシテ、唯大藏當局ニ於テハ御難色ガアッタヤウデアリマスガ、是方所謂政治的解決ト云フコトデ、此實現ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、此商工中央金庫ハ、日本ノ中小商工業者ノ重要ナル地位ニ鑑ミ、又其必要力ラ致シマシテ、私共ハ此商工中央金庫ヲ出

閣ガ迭テカラ見ルト、アノ商工中央金庫ノ仕組モ、資金五百万圓デ適當デアルカノ如クニ主張サレテ居タ方々ガ、内閣ガ迭ルト直チニ資金ハ倍ニナリマシテ、是ハ元々商工省ノ原案ダサウデアリマスガ、一千万圓ノ資金ニ復活致シタノデアリマス、是ナラバ前内閣ノヤリ方ヨリモ、資金ガ倍ニナルダケ效果モ恐ラク倍ニナラウト思ヒマス、商工中央金庫ノ機能モ倍ニ發揮スルコトガ出来ルト思フノデアリマシテ、非常ニ喜ンデ居ル譯デアリマス、是モ畢竟スルニ馬場大藏大臣ガ御就任ニナツテ、從來ノ經濟政策、財政方針ヲ御修正ニナツタ結果デアルト考ヘルノデアリマス、今度豫算ニ此一分増配ヲ其儘御計上ニナツテ居ル大藏大臣トシテハ、果シテ今申シマシタヤウナ事情ヲ能ク御考下サイマシタ上デノコトデアリマセウカ、或ハ此際デアルカラシテ已ムヲ得ナイト云フコトデ、來年以後ニ付テハ何等カノ考ガアリマセウカ、其點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○馬場國務大臣

○馬場國務大臣 只今田尻君ノ御意見ハ洵ニ御尤ダト思ヒマス、只今御話ニモアリマシタ通り、私モ評價委員ヲ致シテ居リマステ、其當時ニ於キマシテモ六分配當デ、釘付ケニスルト云フコトデナカツタコトハ、今

御話ノ通りデアリマス、私ハ實ハ七分位宜ノゾトヲ考ヘテ居リマシテ、殊ニ評價ノ際ニ還元率モ七分位還元シテ居ルヤウナラ、七分位マデハ之ヲ認メテ宜クハナイカ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマシテ、殊ニ評價譯デアリマス、併シソレハソレトシテ、無論出來マスナラバ前ノ商工大臣ノ言ハレマシタ通り、又田尻君ノ御話ノ通り、出來ルダケ六分配富デ行キマシテ、低廉ニシテ豊富ナル鐵ヲ供給スル、而モ將來ノ擴張ト云フコトハ洵ニ必要ナコトデアリマスカラ、是ハ成ベク社内留保金デ賄ツテ行ク、而モ所謂製鐵業從事員ノ社會政策的施設ナドニモ影響ノナイヤウニシテ行ク、是ガ洵ニ理想的ノヤリ方デアリマス、私トシテモ此田尻君ノ趣旨ヲ貫徹シテ行クト云フコトニ付テハ全ク同感デアリマス、併ナガラ一面ニ又考ヘテ見マスト、ソレデハ七分配當ヲスルト云フコトガ、非常ニ惡イ影響ヲ實際ニ及ボスカドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、製鐵合同ヲ致シマシタ際トハ、製鐵事業ノ收益ト云フモノガ、非常ニ思タヨリモ良クナツテ居ルノデアリマス、實ハ社内留保金ナドモ、非常ニ豫期シタヨリモ多ク、爲ニ擴張計畫モドシ～進ンデ行キマス狀況ニアリ、且又政府ガ兎ニ角八割マデモ資本

持ツテ居ルノデアリマスカラ、之ニ一分増配スレバ相當ナ收入モ舉ゲラレル譯デアリマス、而シテ是アルガ爲ニ鐵ノ値段ニ影響スルト云フ程デモナシ、又將來ノ擴張計畫ハ、成程其二百何十万圓カダケハ社内留保バ、ソレダケハ賦金ナリ何ナリヲ殖ヤシテ、事業計畫ヲスルト云フコトニナルノデアリマスガ、此程度ノ配當ヲ今日認メルト云フコトガ、非常ニ惡イ影響ヲ日鐵ノ將來ニ與ヘルト云フ程ノモノデモナイト考ヘマシタノデ、財政ノ今日相當ニ困ツテ居ル際デアリマスノデ、前内閣代計畫シタモノヲ其儘踏襲シタト云フノガ、正直ナ實ハ考方ナノデアリマス、併シ將來製鐵國策ニ付キマシテハ、實ハ更ニ再検討ヲスル時ガ來タヤウニ思フノデアリマス、此製鐵國策ノ再検討ヲ致シマスト同時ニ、此問題モ亦再検討ヲスベキモノデハナイグラウカト考ヘテ居リマスガ、今回ノ此增配ダケハ、サマデ影響ノ悪クナイコトカラ考ヘマシテ、此儘デ一ツ進メテ行クコトニ御諒承ヲ願ツテ置キマシテ、製鐵國策ノ再検討ヲ致シマス時ニ、同様ニ此問題ヲ一ツモウ一漏考ヘテ見タイト思フノデアリマス、ソレカラ今ノ中央金庫ノ千万圓ト云フコトニナリマシタノデ、自

○田尻委員

委員長代理退席田尻委員長代理

○末次委員 一寸關聯致シマシテ——私ハ

能ク分リマセヌガ、今田尻君ノ質問ノ中ニ、統制ノ出來タ、一緒ニ合併出來タ日本製鐵會社ハ六分乃至七分、他ノ統制ニ入ラナイデ各自ニヤツテ居ルノハ一割五分モ二割モ配當シテ居ル、斯ウ云フコトハ非常ニ不公平デアツテ、日本ノ大事ナ鐵ノ問題ニ對シテ、今大藏大臣ガ再検討ヲシナケレバナラヌト言ハレタノハ、多分サウ云フ御者ヲ持ツテノコトダト思ツテ居リマスガ、サウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○馬場國務大臣 私ノ申シマシタノハ「アウトサイダー」ノ配當ガ非常ニ高率デアルカラ、ソレヲドウスルスウスルト云フコトデナクシテ、實ハ日鐵ヲ作リマシタ時ニ

云フコトヲ豫期シテ居ツタノデアリマシタ、其後非常ニ財界、產業界ノ事情ガ變リマシテ、御承知ノ通り「アウトサイダー」ト云フモノハ、相當ノ有力ナモノガ皆殘ツテ、ソレガ盛ニ活動シテ居ル、而モ今後此製鐵、製鋼事業ト云フモノハ、相當ニ國家ガ考へテ行カナケレバナラヌ大キナ問題ニナツテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト、今日ノ儘デ進ンデ行ケルカドウカ、新タナル時代ニ應ジテ、製鐵國策トシテ大ニ考ヲ變ヘテ行クト申スカ、或ハ進ンデドウ云フ對工大臣ガ見エマシタラ、十分ニ御説明ガアラウト思ヒマスガ、私共ノ相談シテ居ル所デハ、詰リ日本製鐵ヲ作ル時ノアノ考ガ、實ハ今日ハ實現サレテ居ラナイノデアリマス、將來ドウ云フ國策ヲ立テルカト云フコトニ付テハ、尙ホモウツ相當ニ是ハ再検討ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

ジテ、最前今日ハ午前中デアルカラト云フ
ノデ、私ノ質問ハ大體二十分トシテ、大藏大臣ヲ貴族院カラ熊々オ出デヲ願ッテ居ルノ
デスガ、委員長自ラノ御質問デ既ニ十二時
ニナツテ居リマス、十二時ヲ過ギテモ、大
藏大臣ノ御諒解ガアルノデセウカ

○田尻委員長代理 中君ニ申上ゲマス、實
ハアナタ今日御出デニナツテ御通告ガアリ
マシタガ、私モ末次君モ一昨日カラ質問ヲ
通告シテ居ツタノデアリマス、ソレデ先程丁
度十時半ニ才出ニナルト云フコトデアツタ
ノガ、遅レマシタノデ……

○中委員 ソンナコトハ伺ハヌデモ宜イノ
デスガ、時間ガ過ギテモヤル大藏大臣ノ御
諒解ガアルナラ待ツテ居リマシン、其時間ガ
ナイノナラ——私ハ朝九時カラ待ツテ居リ
マスカラ……

○末次委員 斯ウ云フコトガ、今ノ製鐵合
同ト云フヤウナコト、詰リ統制ト云フコ
トニ付テハ、非常ニ大事ナコトデゴザイマ
セウガ、兎ニ角政府ガ之ヲ統制シヨウト思ツ
テモ、其統制ニドウシテモ服シナカッタ人間
ハ、非常ニ良イ立場ニナツテ居ルト云フヤ

ウナコトヲ、何時マデモ放任シテ置クト云
フコトニナレバ、後ノ仕事ヲ統制スル時分
ニ、非常ナ難カシイ事情ガ起ツテ來ルダラ
ウト思ヒマスカラ、其邊ハ餘程御考慮ヲ願
ヒタイト思ヒマス、私ガ今ノ關聯事項デ御
伺シタイモノト思ツテ居リマシタノハ、滿洲
國ノ農業移民問題デアリマス、前大藏大臣
ハ、滿洲ノ農業移民ハ到底支那人ト競争ハ
出來ナイ、日本ノ農業移民ヘ少々金ヲ出し
テヤツテモ中々成立タナイ、ダカラ其方面ニ
ハ金ヲドウシテモ出セナイト云フヤウナコ
トデ、モウ殆ド四年カ五年滿洲國ガ出來マ
シテナリマスガマダ僅カ二千人、自分勝手
ニ行ツテ居ルノガ殆ド七百人、僅カナ移民
シカ行ツテ居ラナイノデゴザイマスガ、今度
ノ大藏大臣モサウ云フ御考デゴザイマス
カ、之ヲ伺ツテ置キマス

産業上ノ關係ヲ離レタ問題デハアリマセヌ
ケレドモ、唯所謂産業的ノ見地ノミヨリ兄
ル移民デアルカドウカト云フコトニ依ツテ、
私共ノ考方ガ多少變ツテ行カナケレバナラ
スノデハナイカト思フノデアリマス、其意
味ニ於キマシテ、私ハ此問題ハ相當慎重ニ
考慮致サナケレバナラヌ、唯農業者ガ支那
人ト競争上ドウデアルカト云フダケノ、產
業的見地カラノミ考ヘテ宜イカドウカ、其
點ハ私ハマダ十分ナル研究ヲ今日ハ遂ゲテ
居リマセヌガ、慎重ニ考ヘテ行クベキ問題
ダト思ヒマス、ソレダケ御答シテ置キマ
ス

ノデゴザイマスガ、穀物ノ出來ルダケノ光
線モ持ツテ居リマス、又溫度モ持ツテ居ル、土
地ハ日本ナンカニ比ベルト非常ニ肥エテ居
ル、之ニ日本民ガ移植シテ、農業移民トシ
テ立タレナイト云フ理窟ハ何處カラモ成立
タヌト思フ、又拓務省ガ今向フヘ移民ヲ僅
カヤツテ居ルケレドモ、是デモ相當順序ハ
立ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ聞イテ居リマ
ス、サウスレバ今此人間ガ百万人モ殖エテ
居ル時ニ、十年モ先ニナッタラ一體ドウナル
ノデス、益資本家ト労働者ト激シク抗争ヲ
始メ、農村ト都會トガ殆ド縱横、十文字ニ
抗争ヲ始メテ居ル、ソレヲ益激シクスルヤ
ウナ結果ニナル、兎ニ角何處へ日本人ヲ送
ルト云ツテモ、殆ド世界中何處ニモ行ク所ハ
ナイ、滿洲ダケ一ツ非常ナ日本ノ努力ノ爲
ニ斯ウ云フコトニナツテ居ル、之ニ澤山ナ農
業移民ヲ送ルト云フコトガ、初メテ吾々ノ
早ク生活ノ安定ヲ得、サウシテ國民ノ民族ノ發展ニ
資スル、一番ノ大事ナ問題ダト私ハ思フ、
ソレデ少々金ガ——無論引合ハヌヤウナト
云フコトハ、仕事トシテモ引合ハヌト云フ
ヤウナコトハナイト、私ナンカ思ツテ居リマ
スガ、若シ少々足ラナクテモ、引合ハナク

シテ居ルト云フノガ、是ガ事實デアリマス、ソコデ大藏大臣ノ御演説ヲ拜見致シマスルト云フト、何時マデト仰セラレルノデスカ、モ通常收入ノ増加ヲ計ッテ、此赤字公債ヲ拋棄シナケレバナラヌ、此御言葉カラ推シテ考ヘマスト、御發表ニナツテ居リマセヌガ、恐ラク藏相ノ御意中ニハ、斯クシテ何時ノ頃ニカハ、ドウシテモ此赤字財政ヲ普通ノ財政ニ引戻サナケレバナラヌ、引戻スノダト云フ、何モノカノ御成算ガ必ズヤ大藏大臣トシテハ御持チニナツテ居ルト、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、此間カラ豫算委員會ニ於テ藏相ノ説明ヲ承リマシテモ、只今申上ゲマシタヤウニ、藏相ハ國家經濟力ヲ培養スルコトガ出來ルヤウナモノニ付テハ、積極的ニ今ハ苦シニモヤッテモ宜イノダト云フヤウナ御口吻ヲ漏ラサレテ、非常ニ衷心喜ビ、或ハ藏相ノ御計畫ハ或ル程度マデ御發表ニナリマシタガ、現内閣ニ於テハ公債漸減ヲスルカラ、此以上殖エナイト云ノハ、一體何時ニナツタラ是ガ減ルノカ、何時ニナツタラ止マルノカト云フ、少クモ見据

ニハ付イテ居ナケレバナリマセヌ、現内閣
ニナツテ、成程一時ハ赤字公債ハ殖エルガ、
藏相ノ御説明ヲ、能ク得心ノ行クヤウニ國
本的ノ赤字財政ノ克服ハ、前内閣ノ執ツタ方
針ヨリハ、早ク根本的ニ於テ赤字財政ノ克
服ガ出來ルノデヤナイカト云フヤウナコト
ヲ、私ハ國民ニ考ヘサセ得ルノデヤナイカ
ト云フコトヲ、此間中ノ藏相ノ各所ニ於ケ
ル所ノ、豫算ニ對スル所ノ御答辯デ考ヘテ
居ルノデアリマス、色々御都合モアルコト
ト思ヒマスガ、併ナガラ只今申上ゲマシタ
ヤウニ、是等ノコトヲ少シデモ國民ニ知ラ
シムルト云フコトハ、只今申上ゲマシタ各
個人ガ實業界ニ投資ヲ致シマス上ニ於テ
モ、何カニ於テ財界ノ將來ニ對スル杞憂ヲ
取去ルト云フ意味カラ、洵ニ必要ナコトデ
アリマス、私ガ之ヲ伺ヒマスノハ、只今藏相
ノ言質ヲ得テ置イテ、將來ソレガ間違ツタラ
藏相ヲ責メルトカ、何トカト云フヤウナ考
ハ、無論持ツテ居リマセヌ、固ヨリ藏相ト雖
モ今日御考ヘニナツタコトガ、將來色々社會
情勢ノ變化ニ依ツテ、必シモ其通り實行出來
ルカ出來ヌカト云フコトノ分ラヌコトハ、
私共承知シテ居リマス、何卒此點ニ對シテ

○馬場國務大臣

○馬場國務大臣 沖ニ御尤ナ御尋デアリマス、前内閣ノヤウニ、公債漸減ノ方針ヲ續ケテ参リマシテ、赤字公債ノ絶滅ノ時期ノ來ルコトヲ待ツ、斯ウ云フ考デ進マレタノデ、其通り進ンデ行ケレバ非常ニ結構ナコトデアリマス、自然增收ノ或ル程度ヲ大體ノ目安ト致シマシテ、或ル程度ニ公債ノ漸減ガ出來テ行ク、是デ進ンデシマヒマスルコトハ、最モ喜ビトスル所デアル、恐ラクハ國民モ之ニ信賴ヲ拂ッテ居タラウト思フノデアリマス、然ル所ガ經濟情勢ノ變化ナリ、又多年公債漸減ノ主義ヲ確保致シテ來マシタ爲ニ、産業貿易ノ振興ナリ、或ハ國民生活ノ安定ト云フヤウナ經費ハ、出來ルダケ抑ヘテ參ヅタ譯デアリマス、其爲ニ餘程産業貿易上カラ申シテモ、亦國民生活ノ上方ニ於テハ國際情勢ノ變化カラ、相當ニ國防費ハ増サナケレバナラヌ、是モ先ヅ軍部當局ニ於テモ、無駄ヲシヨウト云フ考ハ毛頭ナシ、不必要ナコトヲ要求シヨウト云フ御考ハ毛頭ナイト私ハ確信シテ居リマスガ、併シ今日ノ時勢ニ於テハ、國際環境カ

ラ言ツテモ、已ムヲ得ズ國防費ト云フモノハ
増大スル、又一面ニ於テ國民生活ノ今日ノ
狀態ヲ此儘ニシテ、公債漸減ノ主義ノ遵守
ノ爲ニ、何等ノ施設モ遠慮シテシナイ、或
ハ產業貿易ノ振興ガ圖リ得ルカ、ヤハリ公
債漸減ノ主義ノ爲ニ、此方ニモ施設ヲ致サ
ヌト、斯ウ云フコトデハ、兩方ノ方面カラ
今日デハ抑ヘテ居ラレナイ時ガ來テシマツ
タノデアリマス、サウナルト、ドウ云フコ
トヲ此場合ニ考ヘテ行ケバ宜イカト云ヘ
バ、從來赤字公債ノミノ——赤字公債ト云
フト少シ語弊ガアリマスガ、要スルニ公債
ダケノ政策ヲ執ッテ、要ルダケノ金ハ唯公債
ヲ發行スルト云フダケデ行クガ宜イカ、或
ハ茲ニ租稅ノ增徵ナリ、其他各種ノ經常財
源ヲ求メテ、或ル程度マデハ其經常財源デ
以テ國家ノ費用ヲ賄ヒシ、又國債ノ將來増
加スル所ノ利拂其他ニ對シテモ、之ヲ安全
ニスル爲ニ經常財源ヲ殖ヤス、サウシテ一
時ハ或ハ赤字公債ノ如キモノモ、產業的公
債ハ勿論デアリマスガ、赤字公債ガ増シマ
シテモ、之ニ依ツテ今日ノ國民生活ノ安定
モ幾ラカソレニ依ツテ出來ル、又產業ノ貿易
ニ對スル政策ヲ、ソレニ依ツテ施設スルコ
トガ出來テ、之ニ依ツテ自然增收ト云フモ
ノノ一種ノ助長ガ出來ル、斯ウ云フコトデ

アリマスルナラバ、假令一時ハ公債ノ發行漸減主義ヲ破リマシテモ、其方ガ國家將來ノ永遠ノ爲ニ宜カラウ、其代リ國民モ今日増稅ト云フコトニ我慢ヲシテ貰フ、增稅ト云フ言葉ハ、國民ノ決シテ喜バザル所デアリマセウガ、今日ノ國家ノ事情上、ドウカ國民モ我慢ヲシテ貰ヒタイ、其代リ之ニ依ツテ此經常財源ヲ得ルコト、並ニ一時ハ公債ノ増發ガアツテモ、國民生活ノ上カラ申シテモ、產業貿易ノ助長ニ依ツテ將來ノ自然增收ノ增加ヲ期待スルコトガ出來ルト云フコトニ依ツテ、將來ハ此赤字ト云フコトガ絶滅出來ルカラト云フ、其事ニ依ツテ國民ノ増稅負擔ヲ我慢シテ貰ヒタイト云フノガ、私ノ根本觀念デアリマス、ソコデソレデハ赤字公債ハ何時ニナレバ絶滅シ得ルカト云フ見透シガ付クカト、斯ウ仰シヤレバ、是ハ私ニハマダ何年ノ先ニ於テ澤山赤字公債ヲ出サズ濟ミマスト云フ財政計畫ハ、今日持合セマセヌ、併シ今私ノ申上ゲタヤウナ方法デ、國民ニモドウカ國家租稅ノ負擔ハ我慢シテ貰ヒタイ、是ハ將來ニハ結局國家ノ產業貿易仲張ニ依ツテ國家ノ歲入ヲ増スシ、サウシテ行ケバ此赤字ハ段々ニ將來減ラシテ行キ、遂ニハゾレガ絶滅出來ルノダカラ我慢シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ私ハ根本觀念カラ增稅其

ト致シマシテモ、一日モ早ク赤字公債ナドハ無クシタ、又租稅ノ負擔ヲ一文デモ少クシタインデアリマス、併シソレデハ結局國ノ財政ノ前途ト云フモノハ全ク暗澹トシテ、我國ノ財政ニ對シテ對内信用モ、對外信用モナクナルト云フコトニナツテハナラヌノデアリマスカラ、國民モ我慢シテ貰ヒタイ、其代リ國防費ニシテモ、其他ノ費用ニシテモ、全ク國家ノ必要ナモノダケヲヤツテ行カウ、產業貿易ノ助長モシナケレバ、到底將來ノ財政收入ハ増サナイ、假令一時ハ形ハ洵ニ面白クナイ赤字公債ヲ殖ヤシテデモヤツテ行クシ、又國民生活ノ安定ガ出來ナケレバ、國防ト云フモノモ唯軍備ヲ増シタカラト云ツテ、決シテ安全ナル國防ハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ方カラ言ッテモ、國民生活ノ方ニモ金ヲ出サナケレバナラヌ、ソレニモ相當ノ金ガ要ルカラ、サウナレバ赤字公債ハ或ハ一時殖エル、若クハソレニ依ツテ赤字公債ガ絶滅シ得ルト云ハ當分減スコトハ出來ヌグラウ、併シ將來フコトヲ覺悟致シ、又其確信ヲ持タナケレバ、斯ウ云フ增稅ヲ國民ニ強ユルコトハ出來ヌグラウト思フ、デアリマスカラ、今アナタノ考へ方ハ、多分私ノ申スコトデ御諒解

ヲ得ルト思フガ、ソレデヤ何年先キカ、十五年先キドウナルカ、斯ウ云フコトハ今日ノ國際情勢カラ言ツテ、中々判斷スルコトハ難カシイノデアリマス、ソコデ十五年先キノ國際情勢マデモ見透シテ、十五年先キ、十五年先キニハドウナルト云フコトヲ申シテ見テモ何ニモナラヌ、ソンナコトヲ申スヨリモ、大體ノ根本ノ政策ガココニ在ルト云フコトヲ以テ、國民ニ増稅ヲシテ貰フコトノ覺悟ヲ決メテ貰ヒタイ、ソレニハ少クモココ七八年ノ國防、其他ノ產業ニシテモ、國民生活ニシテモ、大體ドレダケノ金ガ要ル、ソレデアルカラ是ダケノ增稅、是ダケノ公債ヲ發行セナケレバナラヌガ、今ノ考ヘ方ガココニアルト云フコトヲ國民一般ニ知ツテ貰ッテ、我國將來ノ財政ニ對スル内外ノ信用ニ付テ不安ナカラシムルヤウト云フノガ、私ノ根本ノ考デアリマス、ドウゾ左様ナ意味ニ於テ御諒解ヲ得タイト思ヒマス

○中委員

十五年先キドウナルカ、斯ウ云フ
日ノ國際情勢カラ言ツテ、中々判斷
ハ難カシノデアリマス、ソコデ
見透シヲ附ケルト言ツテモ、十年、
キノ國際情勢マデモ見透シテ、十
五年先キニハドウナルト云フコ
テ見テモ何ニモナラヌ、ソンナコ
ヨリモ、大體ノ根本ノ政策ガココ
云フコトヲ以テ、國民ニ増稅ヲシ
トノ覺悟ヲ決メテ貰ヒタイ、ソレ
モココ七八年ノ國防、其他ノ產業
、國民生活ニシテモ、大體ドレダ
要ル、ソレデアルカラ是ダケノ增
ケノ公債ヲ發行セナケレバナラヌ
考ヘ方ガココニアルト云フコトヲ
ニ知ツテ貰ッテ、我國將來ノ財政ニ
フノガ、私ノ根本ノ考デアリマス、
様ナ意味ニ於テ御諒解ヲ得タイト

ニ歸着スルト思ヒマスガ、是ハ私ハ御理相
ルガ、唯私共ノ憂慮致シマスノハ、果シテ
藏相ノ御考ニナツテ居ル程ニ、容易ニ自然増
收ガアルカドウカ、昭和七年ト十一年ヲ比
較致シマスト、此四五年ノ間ニ二億二三千
万圓ノ自然增收ガアリマス、併ナガラ此期
間ハ、御承知ノ通り貿易ガ非常ニ急激ニ増
加シタ時代デアリマシテ、是ハ時間ヲ取り
マスノデ、後ハ申シマセヌガ、昭和六年カラ
ラ十年度マデハ二十五億ノ貿易ガ五十億ト
云フヤウナ、殆ド倍額ニマデ増加致シタ、
其上ニ七年以來ノ赤字公債ノ増發ニ依リマ
シテ、軍需工業ガ盛ニナリ、此二ツノ理由
デ非常ニ一部ノ經濟界ガ潤サレテ、漸ク此
四五年間ニ二億二三千万圓ノ增收ガアッタ
ヤウナ状態デアリマシテ、今後ノ五年間ト
云フモノハ、我國ノ貿易ハ此以上、二十億
ノモノガ四十億ニナルト云フヤウナ程度ニ
ハ到底參ラヌ、ソコデ公債ハ今七億五千五
圓前後デアリマスガ、是ガ殖エルト云ヘバ、
先ヅ十億ト見ナケレバナラヌ、十億ノ公債
ヲ一年ニ出スト致シマスルト、五年先ニハ、
細カイ勘定ハ分リマセヌガ、約二億近クモ
利拂ダケガ殖エル、赤字公債ヲ憂ヘルノハ、
元金ノ支拂ヲ子孫ニ遺スト云フコトモ第一

デアリマスガ、併シ一體公債ヲ發行スルガ爲ニ、其利拂ノ爲ニ又國家ノ歲出ガ殖エル、エルト云フヤウナコトガ、私ハ一番心配ナノデアリマシテ、果シテ藏相ノ御考ハ、此公債ヲ増加スル利拂、是カラ殖エマス公債ノ利拂ヲ自然增收デヤッテ、尙且ツ公債ノ發行ヲ減ジテ行ク程ノ自然增收ガアルカ否カト云フコトニ付テ、私ハ實際ニ考ヘテ、理想トシ、御意見トシテハ全ク同感デアリマスガ、果シテソレガ實現シテ、我國ノ赤字公債ガ減ルノ時期ガ近キ將來ニ來ルカドウカト云フコトハ、非常ニ心配ヲ致スノデアリマスガ、何カ自然增收ヲ殖ヤシテ、サウシテ結局赤字公債ヲ克服スルノダト云フ御意見ニ對スル、モウ少シ御確信ノアル具體的ノ御示シヲ願フコトガ出來ナイデアリマセウカ、ソレカラ今一つハ、左様ナ目的ヲ達スルト致シマスレバ、餘程藏相ガ思ヒ切ッテ、先刻申上ゲマシタ、所謂國家ノ經濟力ヲ培養スルト云フヤウナ方面ノ施設ニ、餘程思切ッテ御同情ヲ願ハナケレバナラヌ、今年ノ十一年度ノ豫算ハ、全ク不成立豫算ト大差ナイ豫算デアリマシテ、不成立豫算ハ御承知ノ通リニ二十二億七千万圓ニ對スル國防費ガ十億五千万圓デ、此國防費ト他

ノ豫算トノ釣合ニ對シテハ、相當論議ガアツタノデアリマスルガ、將來ニ於テモ或ハ二億ノ國費ガ殖エマスカ、或ハ三億ノ國費ガ殖エマスカハ知リマセヌケレドモ、前岡田内閣ノ編成サレマシタヤウナ豫算デ、所謂國防費ト他ノ施設トノ釣合ガ、斯ウ云フ釣合デ進ミマシタノデハ、尙更私ノ只今心配致ス藏相ノ御理想、即チ自然增收ヲ得テ赤字公債ヲ克服スルナドト云フコトハ、到底私ハ思モ寄ラヌコトト思フ、是ハ或ハ少シ伺ウテモ御答辯ヲ得ルコトハ無理カモ知レマセヌガ、十一年度ノ實行豫算ノ、所謂豫算額ト國防費トノ釣合等ニ對スル藏相ノ御所見ヲ伺フコトガ出來マスレバ仕合セダト思ヒマス

○馬場國務大臣 只今御話ノ如クニ公債ヲ發行致シマシテ、元金ノ負擔ハ無論デアリマスガ、利息ノ負擔ガ殖エルガ故ニ、ドウシテモ十分茲ニ財源トシテ、增稅其他ノ手段ヲ以テ相當ニ收入ヲ擧ゲテ置カナケレバソレガ廻リ廻ツテ國家ノ歲入ト云フモノニ、全ク好影響ガナイト云フ風ナ考ヘ方ハ、無論スル必要ハナイト思フノデアリマス、又國防費ノ增加ト云フコトハ、他面カラ見マスレバ、私ハ豫テ脇デモ講義ナドシタ時ニ申シタノデアリマスガ、即チ國家ガ破壊行為カラ免カルル所ノ、即チ戰爭ヲ避ケテ行ケル費用デアルト云フ風ニ考ヘタイノデアリマス、即チ若シ國防ガ充實サレテ居ラヌガ爲ニ、戰爭ト云フ害ヲ蒙ヅタナラバ、直チニ財界ノ破壞ヲ來スノデ、ソレガ免ルルトルノデアリマス、ソレカラ國防費ガ一般會計ノ中デ何割ト云フ比率ノコトハ、是ハ餘り議論ヲ申上ゲタクナイノデアリマシテ、之ヲ以テ直チニ一般産業貿易其他ノ所謂行政的ノ費用ガ多イトカ少イトカ云フコトデ

ハナイト思ヒマスガ、ソレニ致シテモ國防費ト云フモノガ、今後相當ニ私ハ増サザルヲ得ナイト思ヒマス、而シテ其國防費ト云フモノモ、今日ノ我國ノ產業ノ上若クハ國家ノ增收ノ上ニ、全然役立タナイト云フヤウナコトハ、是ハ考ヘルノガ間違ツテ居ルノデアツテ、今日國防費ニ投ズルコトハ、寧ロ世間デハ軍需「インフレ」ト云フ言葉ヲ使フ者モアルノデスカラ、是ガ我國ノヤハリ關聯シテ居ル他ノ工業ニ非常ナル刺戟ヲ與點ナンデアリマス、ドウシテモ國防ノ充實ヲシテ、所謂國家安全感ヲ全ウショウタスレバ、民政ノ安定ト云フ方面モ國家ガ力ヲ注ガナケレバ、本當ノ國防ニハナラスト云フ考ヘ方ヲシテ行クノデアリマス、而シテ只今自然增收ガ今日ノヤウナ風ニハ到底將來ハ行クマイ、七、八、九ト云フヤウナ調子デ、國庫ノ自然增收ト云フモノガ行クマイト云フコトモ、一つノ御觀察ト思ヒマス、現ニ今日ノ國際貿易ノ情勢ヲ見レバ、各方面カラ我國ノ進出ニ對シテ障礙ヲ興ヘツ、アルノデアリマス、併ナガラ私共ハドウシテモ優良ニシテ廉價ノ生産ヲスルト云フコトヲ、着々其國ノ產業上ニ行ヒマスレバ、將來貿易ノ前途ヲ悲觀スルト云フコトノ必要ハ私ハナイト思フ、各國ハソレバ今日生産過剩ノ爲ニ購買力ヲ失ツテ居ルト

云フ實情ニアリマスガ、追々ト各國モソレゾレ國民ノ將來ノ生活ト云フコトヲ考ヘテ參ル時ニハ、國費ヲ我國ガ丁度赤字公債ヲ發行シテマデモ、國民ノ購買力ヲ付ケル爲ニ努力シタヤウナ政策ヲ、各國ガ同ジヤウニ採ラル、モノト思フノデアリマス、サウナレバヤハリ何處迄モ優良ニシテ廉價ノ生產品ヲ造ル國ハ、貿易場裡ニ立ッテ必ズ優勢ノ地位ヲ占ムルデアラウト私ハ確信スルノデアリマス、成程今日ノ如キ進度ハ、今後持續出來ナイカモ知レマセヌ、隨テ差當リノ自然增收方今日ノ如ク行クカ行カナイカハ、私ハ保證ノ限リデハ勿論アリマセヌガ、我國ノ前途ヲ見ル場合ニ、殊ニ貿易ノ前途ヲ見ル場合ニ、又國內ニ於テ相當ノ產業助長ノ政策ヲ採リ、產業貿易振興ニ對シテ必要ナル國費ヲ使ツテ行ク以上ハ、私ハ我國ノ前途ニ付テサマデ悲觀ヲスル必要ハナイト思フ、私ハ樂觀論者ト仰シャラレルカモ知レマセヌガ、可ナリ實業家ノ中ニハ私共ヨリモ數倍ノマダ樂觀論者モ實ハ居ルノデアリマス、私ハソレ程樂觀シテ居ル譯デハアリマセヌガ、悲觀ヲセズニ吾々ハ爲スベキ仕事ヲドシ～スル、斯ウ云フコトデ進ムヨリ、今日ノ我國ノ財政變理ヲ致ス途外ニハナイト思フ、唯徒ニ前途ヲ悲觀ス

ルト云フコトデナシニ、吾々ハ堅實ニ而シテ前途ニ光ヲ認メテ著々進ンデ行ク、ソレニハ勿論公債ノ發行其他ノ爲ニ經常ノ財源ヲ備ヘテ行クト云フコトニ、先づ第一ニ著ニシテマデアル、所ガ其規模ガ手シロト云フノガ、私ノ財政ノ考ヘ方ナノニアリマス

○中委員 御尋シタイコトハアリマスガ、モウ時間モ三十分過ギマシタノデ、唯一言希望ヲ申述べテ私ノ質問ヲ打切りマス、只今マデ度々仰セラレマシタ增稅デアリマスガ、増稅ニ付キマシテハ、利拂ヒノ殖エル地カラ、此間中藏相ガ各所デ御説明ニナリ

マシタ、大衆ノ生活ヲ脅サヌ範圍ノ增稅ナラバ、是ハ增稅ヲナサヌト云フ前内閣ガ間違デアッテ、私ハ增稅ヲナサル、所謂現在ノ時局ハ現在ノ國民ニ依ツテ解決ヲ致スト云

「此方針デ、堪ヘ得ル人ニ增稅ヲスル、所謂生活ニ困ルヤウナ者ノ脂ヲ搾ラナイ、此立前ガハッキリシテ居リマス以上ハ、此時局ニ増稅ハ當然ナリト信ジテ居リマス、唯申

ス迄モアリマセヌガ、自然增收ヲ得ルト云フ意味合ヲ、成ベク産業施設——今日マデ

産業ノ仕事ヲ扱ツテ居リマス、殊ニ産業貿易ヲ扱ツテ居リマス商工省、從來商工省ノ豫算

ト云フモノハ非常ニ小サイノデアリマス、ガ多々アラウト思ヒマス、中央金庫ノ資金ヲ一度ニ倍額ニサレタ藏相ノ此オヤリ方ヲ見マシテ、私ハ產業政策ニ對スル藏相ノ御方針ハ大體想像ガ付キマスノデ、衷心喜んで居リマス、ドウゾ此上トモ國家ノ經済力ヲ培養スル方面ノ施設ニ、ウント資金ヲ注入マレンコトヲ切ニ希望シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○馬場國務大臣 只今一寸御話ニナッタ輸出補償制度ハ、私ハ今後大ニ擴充シテ行キタイト思ツテ居リマス

○田尻委員長代理 ソレデハ明日ハ午前九時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後零時四十分散會

然ルニ商工省ハヤルコトハナイカ、斯ウ申セバ、一例ヲ舉ゲレバ輸出補償令ノ如キ、アレハ頗ル良イモノデアル、所ガ其規模ガ之ヲ利用スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ點ガ多々アラウト思ヒマス、中央金庫ノ資金ヲ一度ニ倍額ニサレタ藏相ノ此オヤリ方ヲ見マシテ、私ハ產業政策ニ對スル藏相ノ御方針ハ大體想像ガ付キマスノデ、衷心喜んで居リマス、ドウゾ此上トモ國家ノ經済力ヲ培養スル方面ノ施設ニ、ウント資金ヲ注入マレンコトヲ切ニ希望シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

然ルニ商工省ハヤルコトハナイカ、斯ウ申セバ、一例ヲ舉ゲレバ輸出補償令ノ如キ、アレハ頗ル良イモノデアル、所ガ其規模ガ之ヲ利用スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ點ガ多々アラウト思ヒマス、中央金庫ノ資金ヲ一度ニ倍額ニサレタ藏相ノ此オヤリ方ヲ見マシテ、私ハ產業政策ニ對スル藏相ノ御方針ハ大體想像ガ付キマスノデ、衷心喜んで居リマス、ドウゾ此上トモ國家ノ經済力ヲ培養スル方面ノ施設ニ、ウント資金ヲ注入マレンコトヲ切ニ希望シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

然ルニ商工省ハヤルコトハナイカ、斯ウ申セバ、一例ヲ舉ゲレバ輸出補償令ノ如キ、アレハ頗ル良イモノデアル、所ガ其規模ガ之ヲ利用スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ點ガ多々アラウト思ヒマス、中央金庫ノ資金ヲ一度ニ倍額ニサレタ藏相ノ此オヤリ方ヲ見マシテ、私ハ產業政策ニ對スル藏相ノ御方針ハ大體想像ガ付キマスノデ、衷心喜んで居リマス、ドウゾ此上トモ國家ノ經済力ヲ培養スル方面ノ施設ニ、ウント資金ヲ注入マレンコトヲ切ニ希望シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス